

## 地域の魅力発信サイトの事例

T19034 工藤姫香

テーマ設定の理由・・・

信州上田デジタルマップにて自分の地域を紹介した際に、ここにアクセスする人が多ければ多いほど地域の魅力は伝わるし、気軽に普段の生活風景を投稿できることが地域の活性化にはとても必要なことではないかと考えたため、このような地域の魅力発信サイトを行っている事例を調べて、今後地元の発信力につなげたいと思ったため。

○疑問、調べたいこと

- ・情報発信サイトの運営は、だれがどのように行っているか
- ・成功している事例には、どのような特徴があるか。
- ・閲覧者を多くするための工夫とは

事例① 「おらほ-富士見」～ネットの力を最大限に活用した地域の魅力発信の新しいプラットフォームを目指して～ in 長野県諏訪郡富士見町  
→「ホームページをデザインする制作会社」「システムを構築するシステム会社」「ウェブマーケティングを展開するコンサルティング会社」の機能を有する **beChu(ビーチュー)**が企画・制作を担当

✓将来的にポータルサイトのようにも運営できるよう、

オープンソースのCMSパッケージを利用して構築されている。

- ① 安易に、高度な機能が実現…パッケージ購入費用を削減、高度な機能をもつ
- ② 更新作業の効率化…記事を投稿すると自動的に関連する箇所も更新される。
- ③ 立体的な情報提供…どのページにも新着情報を表示、人気のあるページを自動で表示、キーワードで情報を分類などの工夫

✓地域情報の発信プラットフォームに

「富士見町発ブログ新着情報」コーナーでは、富士見町から日々発信されている情報やネットで公開されている富士見町関連のニュースを一覧で見ることができ、「今」富士見町でどんなことが起きているのかわかる。自動更新される仕組み。

✓特産品を多くの方に知ってもらうための工夫

「食用ほおずき」「赤いルバーブ」が紹介されているおらほ-富士見では、商品パンフレッ

トにも掲載される公式ページとして利用されている。ここでもブログ記事が自動的に掲載される仕組みで、関連情報に簡単にアクセスできるようになっている。また、掲載するコンテンツに工夫をすることで、検索サイトで上位に表示してもらい、サイトを経由した新規顧客の獲得にも貢献している。

✓ソーシャルメディアを利用した、新しいコミュニケーション

Twitter や Facebook を利用したコミュニケーションも展開。多様なネットサービスを利用して、富士見町のファンと継続的にコミュニケーションできる体制へ

<https://be-chu.com/case/webcreate/web01.html> beChu 地域の魅力を発信するポータルサイトの制作

<https://www.oraho-fujimi.jp/> おらほー！富士見 Oraho!Fujimi

事例② 多自然地域の魅力発信 WEB ひょうごの元気ムラ

→システム開発&ホームページ制作の株式会社 **デジプレート** が、地域おこし協力隊の取り組みを紹介するポータルサイトを作成。

✓WordPress を導入し、お知らせやイベントなどの情報発信を担当者自身が行える仕様。

✓複数の Facebook アカウントと連携することで、よりリアルタイムな情報を届けることが可能

<https://www.digiplate.co.jp/web/jireipage/33/> DIGIPLATE 多自然地域の魅力発信 WEB ひょうごの元気ムラ

<https://www.yume-hyogo.com/nature/> ひょうごの元気ムラ 未来へつなぐ地域づくり

事例③ とっとりずむ 鳥取県 「鳥取がもっと好きになる」をテーマに情報発信

✓地元民の等身大の視点から鳥取県を紹介している。穴場情報が満載で、リアルな鳥取の魅力を知ることができる。グルメ記事も充実。

✓鳥取県内の主な店舗情報やイベント情報が一目で分かるため、鳥取で生活している人にとって非常に便利な一面、観光情報や移住情報も掲載されており、鳥取に興味のある県外の人情報収集に利用できる。

[https://clip.zaigenkakuho.com/local\\_media\\_2018/](https://clip.zaigenkakuho.com/local_media_2018/) 自治体クリップ 地域の魅力、伝えます。注目のローカルメディア 5 選

<https://tottorizumu.com/> 鳥取県のグルメ・観光・生活情報を発信するブログ とっとりずむ

事例④ おへマガ(岐阜県恵那山麓エリア) 2015年～岐阜県中津川

✓地元に住む人に日常を伝える

✓リアルな交流にも力を入れており、農方池にペントや伝統工芸品のワークショップなどを行っている。古い民宿を改造して宿泊可能な古本屋にするというものも。

<https://www.aerushop.jp/index.php/ohemaga/> おへマガ

事例⑤ 鹿児島よかもん再発見！ 鹿児島県

→鹿児島の良さを知ってもらおうと立ち上げられたローカルメディア。食、資源、文化、伝統、歴史などといった情報が満載、観光スポットとグルメ情報が充実。観光客の増加と経済の活性化を目指す。

✓紹介ページにはそれぞれの店舗や施設へのアクセス方法や見やすい地図を載せてあるため、旅行者にとって便利。県内にある車いす用のトイレマップも掲載している。

<https://kagoshimayokamon.com/> 鹿児島よかもん再発見

事例⑥ 鞆物語 (広島県福山市鞆の浦)

→広島県鞆の浦で暮らす人々の生活を物語風に綴ったユニークなサイト

✓移住者、海外からの旅行者、昔からの住民、彼らのエピソードを紹介することで鞆の浦の良さが浮かび上がってくる仕掛けをつくっている。

✓観光スポット・グルメ・宿泊施設といった情報も数多く、旅行者のガイドブックとしての一面も兼ねそろえている。

<https://tomonoura.life/> 鞆物語

～番外編～ 千曲市 暮らしのガイドブック 2022 保存版

→市の紹介、市民の暮らしに役立つ行政情報、地域情報などが分かりやすくまとめられている利便性の高い冊子。日常生活のガイド。千曲市民の各家庭に1冊ずつ配布された。

✓千曲市の基本情報からお役立ち情報ツールの SNS などの各メディア紹介であったり、税金・福祉・子育てなどの行政ガイド、医療・健康・スポーツなどの生活ガイド、観光ガイドも豊富で、歴史から現在の取り組みまで詳しく載っている。PDF のダウンロードもできるため、観光客が見たい部分を調べて見ることができる。これも、観光 HP などに URL が載っていたら、更にアクセスする人が増えるだろうと思った。

## まとめ・感想

地域の情報発信には、公式サイト以外に専門の会社がサイトをつくっている事例がいくつかあることが分かった。わかりやすさ・見やすさの工夫や、その地域ならではの独特な地域紹介の仕方、タイトルの目の付きやすさ、公式サイトとの連携、自動更新などが成功事例の特徴だった。信州上田デジタルマップが、私たちのような学生が日常の風景を投稿できるように、事例⑥は人々の暮らしの様子を紹介していて、面白いなと思った。観光客目線でも、違う土地の人々の暮らしの様子は珍しいこともあり、興味を持ってもらうことに繋がるため、地域の魅力発信としてとても良い形だと感じた。